

平成29年5月8日  
東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題	認定新規就農者が牡丹切花品評会で新品種賞受賞
-----	------------------------

(ダイジェスト)

松江大根島牡丹協議会では、牡丹の品質向上と付加価値の高い生産を目指し、「松江市大根島ぼたん祭」に併せて、毎年牡丹切花品評会を開催しています。

平成29年度の牡丹切花品評会（4月29日・30日開催）において、認定新規就農者の松本悠太さん出品の切り花が新品種賞（松江大根島牡丹協議会長賞）を受賞しました。

松江市八束町は日本一の生産量を誇る牡丹産地であり、毎年、牡丹の花が見頃を迎える4月末から5月上旬には、全国から多くの観光客が大根島を訪れ、松江市の重要な観光資源となっています。

本年度の牡丹切花品評会は、4月29日と30日に松江市八束支所2階大会議室と町民ホールにおいて開催され、37の農家から92品種、300点（うち新品種36）の切花が出品されました。（表彰は、一般の部4点と新品種の部2点）

新品種の部門は、出品数36から2点の新品種が受賞しましたが、そのうちの1点に認定新規就農者の松本悠太さん出品の切り花が選ばれました。

選定された花は、咲きはじめは花卉が緑色で、開花が進むにつれて白色になる特徴があるそうです。

松江大根島の牡丹は、後継者の不足や住環境の変化による需要の低迷等により出荷量は減少を続けており産地の維持・拡大が課題となっていることから、第3期戦略プラン地域プロジェクトにおいて、生産の拡大や担い手確保の取り組みを進めています。

当農業普及部では、認定新規就農者の早期経営安定に向けて支援するほか、平成27年度から関係機関と連携して開催している「だんだん営農塾牡丹コース」を今年度も実施して新規栽培者の確保につなげていきたいと考えています。



切花品評会会場



受賞切花（松本さん出品は左端）